

報告書を踏まえた小学校算数の指導改善のポイント



©岡山県「ももっち」

今号では、平面図形における指導のポイントと授業アイデア例を紹介します。国立教育政策研究所のHPに記載されている「報告書」と合わせて、算数指導の充実の参考にしてください。

関連する設問「2 図形を構成する要素に着目し図形を考察すること(多角形)」(2)

出題の趣旨

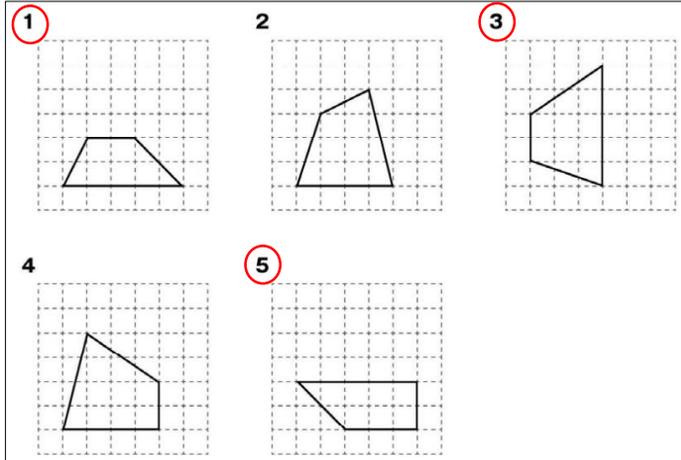
台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる。

(2) 方眼紙に1から5までの四角形を書きました。1から5までの中で、台形はどれですか。3つ選びなさい。

主な解答類型と反応率

※単位：%

解答類型	岡山県	全国
(正答) 1、3、5と解答	46.2	50.5
1、3、「2or4」など	30.2	27.1
1、5、「2or4」など	1.2	1.2
3、5、「2or4」など	0.9	1.0
1、2、4 など	10.1	8.7



分析結果と課題

- 選択肢5のように「**直角のある台形**」を台形であると捉えることができていると考えられる。
- 選択肢2、4のような図形を誤って台形として捉えていると考えられる。

指導のポイント

- ・いくつかの四角形の中から台形を弁別し、その理由を説明する活動を行う。
- ・台形でない図形についても、**図形の性質を基に台形でない理由を説明**したり、**どうすれば台形になるかを考える**ようにする。

この図形は台形ではありません。なぜなら、向かい合う平行な辺の組が一つもないからです。

向かい合う一組の辺が平行になるように形を変えると台形になりますね。

学習指導例：「平行四辺形を変形して台形になるかどうかを調べる活動を行う。」

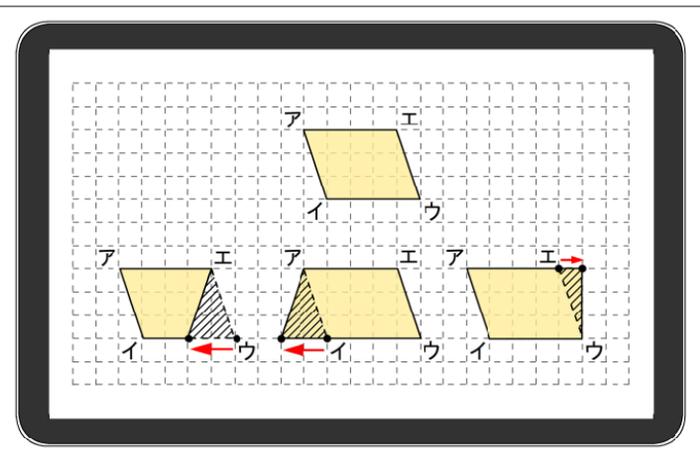
教師の発問

右の平行四辺形アイウエを台形に変えた場合、**辺や角はどのように変わ**るでしょうか。

予想される児童の反応

向かい合う一組の辺は平行のままだけど、もう一組の辺は平行でなくなりました。

平行四辺形では向かい合う角が等しかったけど、台形になると等しくなくなりました。



様々な場面で図形の性質を活用できるようにするために、図形を観察したり構成したりする活動や「**図形を構成する要素に着目して、図形の性質を振り返ること**」が大切です。

授業の展開例については、国立教育政策研究所のHPに掲載されている報告書(右下写真)に掲載されています。ぜひ、ご覧ください。

全国学力調査 報告書

